

パブリックコメント等でいただいた ご意見とその対応一覧表

令和8年3月30日

国土交通省 中部地方整備局
沼津河川国道事務所

パブリックコメントのご意見とその対応

パブコメ意見【狩野川水系河川整備計画変更原案に対する意見とその対応】

No.	原案 該当ページ	いただいたご意見	いただいたご意見の理由	いただいたご意見に対する回答
1	パンフレット 流量表	計画流量変更内容が分かりにくい。	-	説明用として示すため、将来目標となる基本方針、新たな整備計画、現行整備計画を並べて流量を提示しています。 整備計画本文においては、今回変更される整備計画流量のみが示されています。
2	パンフレット 整備内容	下流から着手していくことに理解は出来るが、放水路堰の切り下げのほか、中流域でやれることは何でもよから着手して欲しい。	少しでも内水氾濫しないよう、ポンプアップし続けられるよう強くお願いしたい。	狩野川放水路分流堰の切り下げを実施し支川水位が低下することにより、内水氾濫の軽減に努めてまいります。
3	パンフレット 整備内容	狩野川放水路分流堰の固定堰切り下げ、今までより早く多くの水を流すことが出来ることにより生物(鮎など)が今まで以上に流される可能性が高く考慮してもらいたい。	狩野川放水路に流れる水と共に多くの生物も流れているから。	洪水発生時に放水路へ分派される状況をモニタリングし、生物への影響を確認してまいります。
4		河川内で草刈りをした後の草がそのまま残されている場合があり、洪水が発生すると、溜まっている草が狩野川河口や狩野川放水路から海まで流出し、海岸に流れ着いてゴミ処理に困っている。 また、流木も流れ着いたり、海底に沈んで網に引っかかることがあるため、ゴミ処理に対しても意識してもらいたい。	-	河川内のゴミに関しては、河川巡視を定期的実施し、不法投棄などを含め、注意喚起するとともに、自治体と連携して対応してまいります。

パブコメ意見【狩野川水系河川整備計画変更原案に対する意見とその対応】

No.	原案 該当ページ	いただいたご意見	いただいたご意見の理由	いただいたご意見に対する回答
5	附図	<p>狩野川水系河川整備計画【大臣管理区間】のP2-1・行16~19に記載された基本理念については、強く共感いたします。その理念を踏まえ、「堤防標準断面図(1/400)狩野川分」及び「附図①(狩野川0.0k~2.2k)」について、以下の4点の意見を提出いたします。</p> <p>1.附図①(狩野川0.0k~2.2k)及び 堤防標準断面図(1/400)狩野川分のうち 右岸1.00km(港大橋上流側)~2.00km付近(永代橋下流側)の区間</p> <ul style="list-style-type: none">・標記区間について、「川と人とのふれあいの場」として計画に位置付け、整備を推進して下さるよう要望します。合わせて、断面構造の変更も要望します。・河口から永代橋までの2kmは、現在の沼津港の元となる、川湊の河岸港として沼津の繁栄を支えた場所です。堤内側には今でも、老舗の天麩羅屋や鰻店など川湊に由来する店舗や沼津旧繁華街の名残を残す商店等があります。・治水安全上、河川区域内に船舶等の常時係留ができないことは当然です。・しかしながら、本河川整備計画の基本理念で謳う「連続性を基調とした川づくり」を実現するため、人と人、上流と下流、過去と現在の関係の延長線上にある魅力と活力に満ちた川づくりのため、歴史的価値に根ざした利用とそれを実現し易い構造とすることは効果的と考えます。・天候を考慮したうえで、観光船やカヌー・ボート等の接岸、模擬的な魚の荷揚げ等が可能となれば、新たな利活用に人々は歴史を重ねることができ、周辺への波及効果はより大きいものになると思われま。・ついては、治水と市街地における水辺空間の親水性の両立のため、標記区間を「川と人とのふれあいの場」として整備計画に位置づけ、低水護岸を船着場ができる断面構造へ変更することを要望します。・断面構造の具体的検討においては、明治・大正期に多用された伊豆石利用等、歴史的デザイン・意匠を取り入れた堤防整備にご配慮くださるようお願いいたします。	-	<p>ご意見の区間を含め、沼津市街地は歴史的資源や風致のポテンシャルを有していると認識しており、現在は2.4kp左岸付近において「上土地区水辺整備事業」を推進しているところです。</p> <p>当該区間にて低水護岸等を整備する際には、水面利用への配慮に努めて参ります。</p> <p>沼津市街地のポテンシャルを活かすためにも、関係機関と調整しつつ、にぎわいの創出に努めてまいります。</p>

パブコメ意見【狩野川水系河川整備計画変更原案に対する意見とその対応】

No.	原案 該当ページ	いただいたご意見	いただいたご意見の理由	いただいたご意見に対する回答
6	附図	<p>2.附図①(狩野川0.0k～2.2k)及び 堤防標準断面図(1/400)狩野川分のうち 右岸0.00km～1.3km付近(永代橋下流側)の低水護岸整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標記計画について、平面計画上は適切な位置の相当延長分、断面構造を緩傾斜から直接船が着場できる形状に変更くださるよう要望します。 ・当該区間の一部は「我入道の渡し」の狩野川右岸側アクセスとして活用されています。沼津港から堤内アクセスが良好である一方、河川敷は川裏の堆砂部のため、乗り場が土砂に埋もれて不明瞭となり利用者に不評です。人と人、上流と下流、過去と現在の関係性を重視し、河川空間のオープン化や水際の回遊性・連続性を高める上からも、低水護岸に船が直接着場できる断面構造を部分的に取り入れるよう変更いただくと共に、平面的には土砂が溜まり難く、沼津港との堤内アクセスが良好な位置にご計画いただくことを要望します。 	-	<p>狩野川の上流と下流においては、水辺空間の利便性を高め、地域と川のふれあいの場を創出することを目的に、水辺整備事業の実施に向けて協議会を設置する等、連携に努めているところです。</p> <p>低水護岸の整備にあたっては、水面利用や堤外との周遊性に配慮してまいります。また、土砂掘削においては治水安全度を十分に確保するとともに、河川環境や利活用への配慮に努めてまいります。</p>
7	附図	<p>3.附図①(狩野川0.0k～2.2k)及び 堤防標準断面図(1/400)狩野川分のうち 右岸0.00km～2.00km付近(永代橋下流側)の区間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川空間のオープン化やかかわまちづくり、人の流れの連続性を生み出すと共に、施設の粘り強い化の観点も踏まえ、堤防天端舗装の高質化を伴った打ち替え等について、計画への位置付け、整備推進を要望します。 ・治水上影響を与えない範囲で、堤防敷等の常時利用を促進する照明施設整備への御配慮も要望します。 		<p>堤防天端舗装は、河川管理上必要な区間に整備しております。雨水等の浸透による劣化等を防止するため、必要に応じて補修を実施してまいります。</p> <p>照明設備に関しては、河川管理上必要な箇所以外の設置は難しいと考えております。</p> <p>河川利用にあたってのご要望として、関係機関にお伝えさせていただきます。</p>

パブコメ意見【狩野川水系河川整備計画変更原案に対する意見とその対応】

No.	原案 該当ページ	いただいたご意見	いただいたご意見の理由	いただいたご意見に対する回答
8	附図	<p>4.附図①(狩野川0.0k~2.2k)及び 堤防標準断面図(1/400)狩野川分のうち 左岸0.20km~0.60km付近(江川樋門迄)の区間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堤防天端敷を江川樋門から八幡神社まで接続できるよう、標記区間の堤防整備について、計画への位置付けと整備推進を要望します。 ・また同区間は物揚場が整備され、漁業者が利用すると共に「我入道の渡し」の狩野川左岸側アクセスとして活用されています。 ・そのため、人と人、上流と下流、過去と現在の関係性を重視し、水際の回遊性・連続性を高める上からも、低水護岸に船着場ができる断面構造への変更により、治水と人の流れの連続性確保、漁業者の3者が共存できる断面構造への変更も要望します。 	-	<p>ご要望いただいた区間においては、河道の確保及び堤内地の状況から、堤防天端を通行できるような整備が難しいと考えております。</p> <p>ご意見として承り、今後の河川整備を検討する上での参考とさせていただきます。</p>

パブコメ意見【狩野川水系河川整備計画変更原案に対する意見とその対応】

No.	原案 該当ページ	いただいたご意見	いただいたご意見の理由	いただいたご意見に対する回答
9	3-1	狩野川水系河川整備計画の変更について、流域の治水安全を確保するための様々な整備内容の検討をしていたいただきありがとうございます。最終的に水が流れ落ちる狩野川の流下能力確保のための対策をしていただくことで、各位町を流れる支川への影響が非常に大きいと感じています。一方で、令和5年8月に変更された河川整備基本方針では、函南町内を流れる来光川や大場川に流量の変化が見られず、ホームページ上の資料でも、函南町内には河道掘削や堤防整備の整備内容が無いように読み取れるため心配に感じています。変更原案の3-1中に「来光川においても洪水調節機能の確保について調査・検討」と記載されていますが、どのような調査・検討を実施するのか現状の予定について説明いただくと幸いです。	-	令和5年8月に変更した狩野川水系河川整備基本方針においては、「流域治水の観点から支川流域において可能な限り貯留を行う。」として検討を進めており、大場川と来光川では、流域対策を実施してまいります。今回の河川整備計画においては、河川整備基本方針に向けた段階的な整備とし、流域における洪水調節機能を確保するため、最適な事業の検討を実施してまいります。なお、今回の狩野川水系河川整備計画においては、来光川の堤防整備として、浸透対策を位置付けています。
10	3-1 29行目	「安全度を向上させるため、分流堰の改築を実施する。」と記述されていますが、さらに内容を明確にするため、以下の文章を次の行の前に、追加挿入して頂きたい。 「狩野川放水路の分流堰の固定堰部を切り下げることによって、放水路への分派量を増加させる。」	狩野川水系河川整備計画(変更案)では、「狩野川水系河川整備計画(変更案)概要版」には記載されている「分流堰の固定堰部を切り下げる」の内容が未記載です。一般住民が、狩野川水系河川整備計画を読んだときに、狩野川放水路の主要な改築内容を簡単に把握できるように、具体的な記述の追加をお願い致します。	中小規模洪水における流域の治水安全度向上のため、分流堰を改築する計画としておりますが、固定堰の切り下げを含めた詳細な構造については、今後、検討してまいります。
11	3-6 11行目	四日町排水機場の能力向上により内水氾濫の低減に期待する。	内水氾濫により住宅への被害に加え、国道136号の通行止など交通傷害をおこしている現状があるため	河川整備計画の内容に沿って、事業を推進してまいります。
12	3-6	内水対策について、排水機場の配水機能の増強に期待している。	国道などの主要な道路冠水による交通網の機能停止や住宅等への浸水被害が少しでも少なくなつて欲しいため	河川整備計画の内容に沿って、事業を推進してまいります。

パブリックコメントのご意見とその対応

パブコメ意見【狩野川水系河川整備計画変更原案に対する意見とその対応】

No.	原案 該当ページ	いただいたご意見	いただいたご意見の理由	いただいたご意見に対する回答
13	3-15	<p>私たちの身近な狩野川が後世へきれいに維持されるためには、地域住民や多くの方が河川に親しめる環境整備が必須であり、河川空間の高水敷や堤防、低水路のさらなる活用が必要である。</p> <p>伊豆の国市の川の駅伊豆城山から狩野川リバーサイド公園、千歳橋堤外地公園、狩野川さくら公園、函南町川の駅、沼津市上土地区などの拠点を結ぶ河川環境整備、上下流の拠点の結びつきをより一層強めるポイントをしっかり反映していただきたい。</p> <p>ミズベリングかのがわ会議等の会議決定が河川環境整備として、河川の形に現れるような会議体にしてもらいたい。</p> <p>また、このような取組に民間の利益が生まれ、河川周辺が活性化し、さらに魅力が向上することを願います。</p>	<p>狩野川の会議体が継続しないため、きれいな河川が後世に残り、憩いの場になるように。</p>	<p>狩野川沿川で「かわまちづくり計画」に登録された沼津市、伊豆の国市、函南町と国土交通省とが協力連携することを目的として狩野川流域河川空間利活用連携協議会を設置しています。計画登録された3地区の川の駅や都市・地域再生等利用区域とで連携し、更なる活用推進を図るよう、関係機関と利活用策の検討を進めてまいります。</p> <p>また、各拠点の結びつきをより一層強める点について、いただいたご意見も参考に環境整備を検討してまいります。</p>
14	3-18 3-19	<p>毎年くり返す台風水害や大水によって上流部より流出する土砂が河川と河川敷に大量に堆積しています。</p> <p>現在は河川にて砂を採集する業者もいないため、土砂は堆積し続けている一方です。</p> <p>現在は河川及び河川敷の大量の堆積土砂によって、川や河原の様子が様変わりしました。</p> <p>昔に比べ大雨時には河川の水量、水位上昇の速度が異常に速くなっていますので、早急に河川の氾濫対策の実施と対応が求められると考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年少量ずつですが、長年に渡り堆積した河川敷及び護岸の堆積土砂の積極的な掘削と撤去の推進 ・土砂の堆積により浅くなってしまった川底の掘削及び除去と堆積土砂の撤去の推進 ・河川敷に樹木や竹林、雑草が繁茂してしまい大水時に河川の流れが妨げられ滞留する、また河川上流から流れるゴミが引っかけりさらなる土砂の堆積につながる悪循環がおきていますので、河川敷の雑樹木や竹林の伐採除草を推進していただきたい。 	-	<p>河道の掘削や樹木の伐採に関しては、河川整備計画の目標流量に向けた河道掘削を実施しているほか、目標流量に対する流下能力が確保できた箇所でも、洪水等の土砂移動に伴って土砂が溜まった場合、定期的実施する測量により流下断面に影響があるような堆積が生じている場合など、必要に応じて掘削を行っております。</p>

パブコメ意見【狩野川水系河川整備計画変更原案に対する意見とその対応】

No.	原案 該当ページ	いただいたご意見	いただいたご意見の理由	いただいたご意見に対する回答
15	3-27	地震や津波災害の対応について、河川管理施設の巡視、点検体制の確保や情報収集体制の整備が示されていますが、実際の災害時には、迅速な初動対応が必要となるため、関係機関との連携強化や訓練の実施等により、実効性の高い体制の構築を期待します。	近年、大雨や大規模災害が増えていると感じており、河川の安全対策は地域住民にとって重要な課題であるため。	災害の発生に備え、事務所内における訓練や、関係機関が開催する訓練への参加など、継続して実施しているところです。今後も災害発生に備え、関係機関との連携や訓練実施による防災に努めてまいります。
16	4-16	山田川と狩野川の合流付近は狩野川台風クラスの洪水があるときには、狩野川の洪水位が高くなるため、山田川の洪水は狩野川への放流が抑えられ水位が高くなる恐れが考えられます。今までも山田川の洪水の水位が高くなったときがあり、住宅地に被害がでる心配があるので、熊坂区は山田川の河川管理者である静岡県に堤防のかさ上げを要望しています。 また瓜生野・熊坂水路の放流のために山田川右岸と狩野川左岸の堤防は繋がっていません。住民からは両堤防を接続してほしいとの意見があります。 この付近は大規模な水田地帯となっているので、狩野川台風クラスの洪水のときは山田川の洪水は堤防が繋がっていないのでここから山田川の洪水が流入して山田川の水位の上昇を抑える効果や狩野川本川下流の治水効果が考えられます。このため50年に1度の確率の洪水のときは水田への流入を防ぎ、狩野川台風クラスのときは調整池機能を発揮することが重要であると思います。	-	山田川の堤防整備の要望については、河川管理者である静岡県に伝えます。
17	4-23 4-24	伊豆市の「新しい都市計画」マスタープランにおいては、「市と地域の共同により、狩野川や山田川の水辺空間と周辺農地の保全」、「市と河川管理者が連携し、狩野川記念公園における狩野川の水辺空間と連続した野外体験交流の河川整備や、観光案内やレクリエーション拠点としての機能強化を推進します。」と位置づけています。 さらに当地域づくり協議会は、今まで狩野川や山田川で子供の野外体験教室や体験交流を行ってきました。 今後は山田川と狩野川の合流付近で、関係機関の指導をいただき、熊坂小学校と連携して昔の子供たちが川で楽しんでいた遊びを復活したいと考えています。		河川空間の利活用や周辺空間と連続した活用について、いただいたご意見も参考に河川環境整備の検討を進めてまいります。

住民説明会意見【狩野川水系河川整備計画変更原案に対する意見とその対応】

No.	会場	いただいたご意見	いただいたご意見に対する回答
1	伊豆の国市	整備計画のパブリックコメントをよく行っていただいた。1日も早く工事に着手し、1日も早く完成に向けて進めていただきたい。	治水事業にご期待いただき感謝申し上げます。 1日も早く事業を推進できるよう、努力してまいります。
2	伊豆の国市	既設狩野川放水路の改築等を含めた洪水調節機能の確保について、狩野川水系河川整備基本方針では狩野川放水路が3,400m ³ /sになると示されていたが、今回は既設放水路を含め2,700m ³ /sとの表現である。基本方針に向けた残りの700m ³ /sはどのような扱いになるのか、教えていただきたい。	3,400 m ³ /sは将来計画である狩野川水系河川整備基本方針の中で定められている放水路で受け持つ洪水調節の計画高水流量です。 今回の河川整備計画では、既設放水路を含めて流域で2,700m ³ /sの洪水調節機能確保を行うことが目標であり、河川整備基本方針の計画高水流量に向けて、段階的な整備を実施してまいります。
3	伊豆の国市	説明会の資料では、治水対策、環境に関する河川整備の内容を説明いただいているイメージだが、それらの整備にどのくらいの額が必要となるか、教えていただけないか。	河川整備計画変更後、狩野川直轄河川改修事業の事業評価を実施し、公表してまいります。
4	伊豆の国市	田方平野で一番水が溜まる地域に住んでいる。内水氾濫が深刻であり、令和元年東日本台風の際には、水位が上昇し続けたため、自らが排水機場のポンプを止めた経験がある。 狩野川放水路の流量が上がれば、来光川の水位が下がってもう少し流せると考えている。 しかし、新田排水機場のポンプは現在ほぼ満杯であるため、これ以上ポンプで水を吐くことができない。そのため、新田の排水機場の能力アップをしていただきたい。	排水機場の操作に尽力いただき感謝申し上げます。 新田排水機場は国土交通省所管ではないため、ポンプの増強に関してはお答えできないが、直轄河川整備を進めて河川の水位を低下させ、内水氾濫の低減にも効くような対策を進めてまいります。
5	伊豆の国市	整備計画に四日町排水機場の機能増強があり、ありがたいと思っている。早期に進めていただきたい。 また、放水路の工事はなるべく早くお願いしたい。 放水路の堰を下げると内水においてとても助かると思うが、具体的にどれくらい下げるのか。	早期に工事に着工できるように努力してまいります。 狩野川放水路分流堰の切り下げについては、令和元年東日本台風時において分流堰を1m切り下げたと試算した場合、大場川の大場水位観測所で約0.4m、来光川の蛇ヶ橋水位観測所で約0.5mの水位低下効果が期待されております。今後、調査・設計を行い、詳細な構造を検討してまいります。

住民説明会意見【狩野川水系河川整備計画変更原案に対する意見とその対応】

No.	会場	いただいたご意見	いただいたご意見に対する回答
6	伊豆の国市	放水路の分流堰を下げる工事について、放水路全体の工事として、既設放水路改築か分流堰のどちらが先になるのか。	具体的な施工手順については、現在検討中であり回答は控えさせていただきます。
7	伊豆の国市	<p>今回の説明で整備計画について理解ができて感謝している。 基本方針の改定で100年に一度の降雨に耐えるものとして、狩野川放水路を2,000m³/sから3,400m³/sを最終目標として変更しているが、今回の目標は2,000m³/sから2,700m³/sへの増加となり半減する形となっていると思う。 近年の気候変動で特定の地域に長時間雨が降り続けることで大きな被害が出る状態だと思う。 地域住民にとっては3,400m³/sが2,700m³/sに減るという捉え方となり、水害に対するリスクがそこまで下がらないように思ってしまうが、減らした理由を伺いたい。 また、令和元年東日本台風の際に狩野川の水位が高く内水被害があったが、2,700m³/sで支流の浸水被害をいかに防げるかを危惧しており、説明していただきたい。</p>	<p>狩野川河川整備基本方針は狩野川の将来計画をお示しているものであり、河川整備計画はそのうち当面30年程度の具体的な整備内容を定める計画です。概ね30年間で整備できる内容を検討した結果、既設狩野川放水路を含めた2,700m³/s洪水調節機能を確保する計画としました。 狩野川放水路分流堰の切り下げにより、令和元年東日本台風時において分流堰を1m切り下げたと試算した場合、大場川の大場水位観測所で約0.4m、来光川の蛇ヶ橋水位観測所で約0.5mの水位低下効果が期待されております。今後、調査・設計を行い、詳細な構造を検討してまいります。</p>
8	伊豆の国市	<p>令和元年台風19号では狩野川台風より広い地域で同時多発的に雨が降り、水が流せなくなり、内水が捌けない状況になったと認識している。 放水路固定堰を下げることで、黄瀬川大場川来光川の水位低下に貢献するのは分かるが、河道にボトルネックがあると流れないと思う。 基本は下流から整備することになると思うが、整備計画の優先順位というのはどのように決めているのか。 なるべく早く中流域の整備をしていただき、中流でなるべく排水ポンプ稼働時間が短くなるような事をしていただけないか。</p>	<p>下流からの河道整備が基本である一方で、放水路は放水路より上流で降った雨をバイパスできるため、放水路より下流地域全体に効果があると考えております。 具体的な整備内容の順番は、現在検討中です。</p>

住民説明会意見【狩野川水系河川整備計画変更原案に対する意見とその対応】

No.	会場	いただいたご意見	いただいたご意見に対する回答
9	伊豆の国市	<p>函南町には来光川、大場川、柿沢川の3河川が流れているが、函南町でのメニューがないように見える。</p> <p>狩野川本川と来光川の合流地点について、来光川が若干上流を向いていて、流れにくくなっているように見える。来光川合流箇所付近の、狩野川左岸の掘削をやっていただくことで来光川が流れやすくなるように思うので実施いただきたい。</p>	<p>パンフレットには河道掘削等の水位低下対策を重点的に示したため、函南町内での事業が載っていないが、変更原案附図をご覧くださいと、函南町内でも来光川で堤防強化を実施予定です。</p> <p>来光川合流点に関しては、ご意見として承りました。</p>
10	伊豆の国市	<p>目標流量について、基本方針では放水路の流量3,400m³/sの数字が残っている。</p> <p>今回の整備で、洪水調節機能の確保で狩野川放水路が2,000m³/sに加えて700m³/sの増強になるのか、500m³/sになるのかは分からないが、基本方針で決めた3,400m³/sの意味は何なのだろうかとなる。</p> <p>基本方針では放水路3,400m³/sが明確になっているものの、今回の整備計画ではそれより低い値で流量を増やすということは理解した。</p> <p>このままの表現では理解がしにくいと思われる。</p> <p>基本方針3,400m³/sを残すのであれば、第一次計画で2,700m³/s、第二次計画で3,400m³/sといったような表現がよいのではないか。そして第一次計画完了後、すぐに着手するといった書き方ですぐに工事をやっていただくような書き方にしていきたい。</p>	<p>今回の説明にあたり、基本方針と整備計画を一つの模式図に入れた資料としています。</p>
11	伊豆の国市	<p>四日町排水機場の能力アップについて、現状、堤防の中を抜けて狩野川に流していると思うが、堤防の上にポンプを通して、高いところから流すことはできないのか。</p>	<p>狩野川本川水位とポンプ場側から押し上げる水位の差によって排水能力が決まるため、ポンプを通す位置はどちらの形式でも変わりません。</p> <p>今回のご意見は排水量の増量に向けてポンプの能力を上げて欲しいという旨で承りました。</p>

住民説明会意見【狩野川水系河川整備計画変更原案に対する意見とその対応】

No.	会場	いただいたご意見	いただいたご意見に対する回答
12	伊豆の国市	附図の縦断図について、計画堤防高より計画高水位が低くなっているが、計画高水位は1/50超過確率のものになるのか。	狩野川本川の縦断図に示しているのは1/100超過確率の計画高水位です。
13	伊豆の国市	基本方針では、狩野川台風を対象としており、その流量を安全に流すための水位が計画高水位という理解でよいか。	従来は狩野川台風を対象としていましたが、令和5年8月に狩野川水系河川整備基本方針を改定しており、大仁地点であれば4,600m ³ /sが計画高水流量となり、狩野川台風以上の流量を想定しています。
14	伊豆の国市	狩野川では掘削を定期的に行っているのか。川底はいつも一定に近いという理解でよいか。川底を触っている工事を見たときに、川底のレベルが一定に保たれているかが疑問に残った。	河川整備計画の目標流量に向けた河道掘削を実施しているほか、目標流量に対する流下能力が確保できた箇所でも、洪水等の土砂移動に伴って土砂が溜まった場合、定期的に行う測量により流下断面に影響があるような堆積が生じている場合など、必要に応じて掘削を行っております。掘削形状については、環境面や施工性も考慮した形状としています。
15	伊豆の国市	狩野川放水路の河口で口野橋から海側に河川領域があり、県が海岸堤防を作ることに併せて堤防を作ると思うが、県の事業と一緒にやるのか別々に整備計画を立てるのかどちらなのか。	堤防は一連区間で完成させなければ、津波対策の効果が発揮できないため、海岸管理者と事業を調整していきたいと考えております。
16	伊豆の国市	意見募集について、函南町にいくつか整備する計画があると思うが、なぜ説明会を工事を実施する清水町や函南町でしないのか。	各市町の受付や、インターネット上でも資料を閲覧できるようにしており、幅広く意見を募集しているためご理解いただきたいと考えております。なお、工事を実施する場合は、個別に周辺の関係者の皆様へ説明してまいります。
17	伊豆の国市	放水路の固定堰の切り下げ高も検討中であり、放水路改築も検討中で計画が漠然としていると思う。このまま工事実施ではないと思うが、数値や設計がはっきりした時点で、住民説明会を2箇所だけでなく関連自治体で開く計画はあるか。	整備計画は今後約30年間の概ねの事業内容を示すものであり、現時点で詳細設計が完了しているものではないです。今回は全体計画として広くご意見を募集しておりますが、事業に着手する段階にあたっては、関係する地域で個別に工事の説明会を実施する予定です。

住民説明会意見【狩野川水系河川整備計画変更原案に対する意見とその対応】

No.	会場	いただいたご意見	いただいたご意見に対する回答
18	沼津市	概ね30年で今回の計画である堤防整備や掘削をやってくれると捉えてよいか。放水路の固定堰を下げることで、他の堤防整備が後回しになっても水位はある程度大丈夫だと思う。そのため、放水路を一番先にやらざるを得ないと考えている。どんな大きな洪水でも下流がまず浸からないにすることが狩野川の整備では一番必要だと思う。そのため、まず放水路から着手してくれるのか。 分流堰切り下げについて、例として1m切り下げと具体的な数字が書いているが、具体的な値はこれから検討するのか。	具体的な施工手順については、今後検討予定であり回答は控えさせていただきます。 分流堰切り下げについては今後、調査・設計を行い、詳細な構造を検討してまいります。
19	沼津市	固定堰を下げて2,700m ³ /sを調節して、河道に3600m ³ /s流すと記載している。3,600m ³ /sを流下させるというのは、現在の放水路のままでも、本川下流で3,600m ³ /s流れると言うことか。 固定堰を下げると来光川の水位が下がると説明を受けたが、目標流量の資料では、大場川や来光川の流量が今の計画と流量が変わらないとなっている。流量と水位の関係について、固定堰を下げれば水位が下がるという捉え方でよいのか。	2,700m ³ /sは赤柾の流域での洪水調節機能の確保であり、内数として現在の放水路の洪水調節機能も含まれています。 下流の河道は、洪水調節機能を確保したうえで黒瀬地点で3,600m ³ /sを安全に流すことが出来るように整備を進めていく予定です。 大場川や来光川は堤防高や河道断面が基本方針規模であるため、直接河道内で流量を増やす事業は実施しません。 令和元年東日本台風の際に固定堰を1m切り下げていた場合の試算では、来光川合流点では約0.6m、大場川合流点では約0.5m水位低下し、来光川や大場川でも水位低下が期待できることをお示ししています。
20	沼津市	放水路の固定堰を切り下げるほか、既設放水路の改築は検討するとなっている。整備計画は概ね30年ということだが、固定堰を下げる工事だけで30年かかるのか、放水路の拡張を検討して増強することで30年となるのか、検討はいつまで続くのかを分かる範囲で教えていただきたい。	固定堰の切り下げは今ある狩野川放水路の能力を有効活用するものであり、洪水調節機能確保検討とは異なります。 分流堰改築の完成時期や、洪水調節機能確保の検討の完了時期については、なるべく早期に事業着手できるよう努力してまいります。
21	沼津市	パブリックコメントの締切が3月13日であり、第4回流域委員会の後に県に提出するとの流れになっているが、整備計画変更が完了するまでの具体的なスケジュールを知りたい。	パブリックコメント等で集めた皆様や学識者の意見を踏まえて、早期に変更案を示したいと考えています。狩野川水系流域委員会での審議完了後、事務手続き等を経て変更となります。 なるべく早期に変更手続きが完了できるよう努力してまいります。

住民説明会意見【狩野川水系河川整備計画変更原案に対する意見とその対応】

No.	会場	いただいたご意見	いただいたご意見に対する回答
22	沼津市	<p>危機管理対策として函南町の伊豆ゲートウェイ函南が河川防災ステーションになっていることは羨ましいと思う。</p> <p>次の整備計画でも、防災ステーションを整備予定とのことだが、川の駅として整備された伊豆城山が位置的に望ましいのではないか。</p> <p>伊豆城山は今年度かわまちづくり大賞を受賞した。</p> <p>伊豆城山では近隣の順天堂大学病院に患者が運ばれるときにヘリポートが活用されている。</p> <p>川の駅伊豆城山が河川防災ステーションになる見込みはないのか。</p>	<p>伊豆ゲートウェイ函南は、川の駅や防災ステーションとして、平常時及び非常時に有効活用できるよう整備されています。</p> <p>川の駅伊豆城山は、にぎわいの場を創出することを目的に整備され、現在は平常時に活用いただいておりますが、広く整備された空間を、平常時だけではなく、非常時にも活用できることは有効であると考えております</p> <p>新たな防災ステーションの位置を検討していく際には、いただいたご意見も参考に選定してまいります。</p>
23	沼津市	<p>固定堰を1m切り下げるとの例があるが、考えられる中で固定堰は最大何m下げられるのか。</p>	<p>分流堰切り下げについては今後、調査・設計を行い、詳細な構造を検討してまいります。</p>
24	沼津市	<p>国土強靱化が進む中で、予算状況としては問題ないのか。</p>	<p>必要な事業実施に関わる予算の確保に努めます。</p>
25	沼津市	<p>防災ステーションの伊豆ゲートウェイ函南は、周辺道路がよく内水氾濫で浸かっている。防災ステーションとしての能力に問題はないのか。</p>	<p>伊豆ゲートウェイ函南の周辺道路が内水氾濫で通行できない場合があることは承知しています。</p> <p>防災ステーションの機能としては、一般の方の通行は難しいですが、緊急車両が通れるように堤防天端が舗装されて通行可能であるため、内水氾濫発生時も機能が確保出来ます。</p> <p>新しく防災ステーションを整備する際も、アクセス道路など周辺環境を踏まえて検討を進めてまいります。</p>